

ぐりやまニア

監督！

この町に潜在能力は
ありますか？カルチャーブラザ
『Eki』にて。あの報
道番組からやって
きた巨大人形と共
演してくれました。

「町名と名前が同じ、ということでは栗山青年会議所からお声がけがあった時のことを覚えていらつしますか？」

もちろん！僕には「子ども達のために野球場を作りたい」という夢があったんですよ。野球への恩返しというか、自分には何かできないかと考えていたんで。それで河口湖の方とか、九州とか、地方に行くたびに場所を探していたんです。ただ北海道という考えはなかったですね。冬がどうなるかわからなかったです。声をかけてもらって、町を知って、環境を知って、決

「夢の実現場所として、何が決め手になったのでしょうか。」

当時は栗山町でコンサドーレの練習場（栗山町ふじスポーツ広場）を作っていた時期でもあったので、「ここなら何かできるんじゃないかと。そして一番は栗山の人の温かさや熱さですね。今も町の人たちには本当に感謝しています。僕の夢に同調してくださって、手伝ってもらったりして。」

栗山監督が
栗山町に惚れた
ワケ。

栗山町にとって、栗山町民にとって、大切な人。誰よりも栗山のことを知ってくれている人。偉大でありながら、親戚のようにあたたかい栗山英樹監督に、この町への想いと可能性について語っていただきました。話は1998年まで遡ります。

「初めて栗山町に足を踏み入れた時の第一印象は？」

「最初は栗山町に足を踏み入れた時の第一印象は？」

「最初は栗山町に足を踏み入れた時の第一印象は？」



つくる人も、応援する人も、
みんなが集うマーケット

皆さんはもう行きましたか？栗山駅前に構える、「ぐりやま」する人のためのマーケット&休憩スペース『ぐりやまクリエイターズマーケット』。この店舗の運営主体は栗山町。現在、町内外のぐりやま25組のオリジナル雑貨&アクセサリーを展示販売しています。

に訪れると、羊毛フェルト人形作家のツキオユキさん（伍七屋）が、作品「かがみもちじん」を作りながらお店番をしていました。これどうやって作るんですか？「なんでこの発想が！」なんて作家さんに直接話を聞けるのも、このお店ならではの月一回程度、さまざまなワークショップを開催しており、ぐりやまエイトと、彼らを応援する人がつながる場所としても利用されています。

用されています。出展者には栗山にちなんだ作品を一点以上お願いしているため、個性豊かな栗山の魅力にも出会えますよ！

新たな取り組みとしては、栗山町で飼っている羊の毛を譲り受けたことをきっかけに始まった「ぐりやま羊毛研究所（仮）」羊毛をみんなで洗い、染色し、羊毛フェルト作品を完成させました。

この場所を中心に、たくさんの方のヒト、モノ、コトが動き出しています。町民の皆さんも、気軽にものづくりに触れて来てみてください。



ぐりやまクリエイターズマーケット
（不定期営業）

■場所：栗山町中央3-6
（栗山駅から徒歩1分）
<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/docs/2017120100075/>

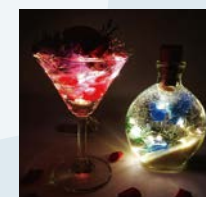
〈主な出展作品〉 ○アクセサリー○ハーバリウム○羊毛フェルト○手つむぎ毛糸○布小物
○ポストカード○消しゴムハンコ○インテリア雑貨 ほか1,000点以上

3月の
ワークショップ

くりまのホワイトデー
大人のハーバリウム体験

■日時：3月12日（火）18:00～20:00 ■講師：Rosi's Herbarium 鈴木さま
■参加：事前予約受付中（当日参加も可能） <https://kuriyamacreative.wixsite.com/kurima>
■主催：栗山でつながるぐりやまエイトの輪

大切な人に、日頃の感謝を込めてハーバリウムをプレゼントしませんか？お仕事や学校終わりに参加していただけるよう夜の時間帯に開催。ぜひご参加ください！



●大人のジェルフラワー
ライト
ジェルフラワーライト1点
¥3,000（税別）



●ハーバリウム制作体験
選べるボトル、
エジプシャングラス
¥1,000（税込）～

読者プレゼント

本誌についてのアンケートにご協力ください。お答えいただいた方の中から抽選で5名様に、栗山町在住の陶芸家、石川進一さん（SUSU窯）謹製の「ぐりやまエイトする町栗山町 オリジナルぐりやまエイト」をプレゼントします。

■回答期限：2019年3月31日（日）まで



アンケートはこちら→
<https://goo.gl/forms/Hf9ZJVXYjx4QWYbB3>



栗山町移住促進プロモーション
サイトができました。

その名も「ぐりやまに、住んでくり。」。栗山の魅力をギュッと詰め込んだサイトです。移住を考えている方はもちろん、栗山に住んでいる方もぜひ覗いてみてください。



「ぐりやまに、住んでくり。」→
<https://sundekuri.kuriyama-iju.com/>



本誌について、ぐりやま若者シティプロモーションについてのお問い合わせ

栗山町若者定住推進課

TEL0123-73-7521

FAX0123-72-3179



ぐりやまほっとらいふ



この事業は
サマージャンボ宝くじの
収益金を活用して
実施しています。

ぐりやまエイトするまち
山町
KURIYAMA TOWN



栗山のじゃがいも(この日はとうやを使用)と『ハム工房ささ木』のベーコンを使用したピザ『じゃがいもベーコン』。



が栗山の食材を使った料理の数々、そしておなじみ『小林

内装デザインは町内の建築デザインさんに、資材は町内の建築会社に、椅子は町内の家具メーカーに、外壁や床の塗装は町の人々に協力してもらって作り上げた店内。そこで提供しているの

『町内の若者たちと』栗山の産品を食べられるお店って少ないよねという話になって、それが店作りのきっかけになったんですと、石井翔馬さん。同じく地域おこし協力隊の高橋毅さんとクラウドファンディングプロジェクトを立ち上げ、なんと約20日間で目標額を達成。2018年11月に待望のオープンとなりました。

人が、グルメが集う新スポット

あります。

栗山町駅前通り商店街に、地域おこし協力隊のメンバーが運営するカフェバルが

くりとくら、覗いて来ました



Cafe&bar くりとくら 石井翔馬

埼玉県出身。飲食店勤務を経て2016年に栗山地域おこし協力隊として移住。同じく神奈川から移住してきた高橋毅氏とともに、「合同会社オフィスくりおこ」を起業。2018年11月「Cafe&bar くりとくら」をオープンする。

Cafe&bar くりとくら

〒069-1511 栗山町中央2丁目9-5
TEL 0123-76-7700
営業時間 18:00～24:00
土日ランチ営業(11:30～14:00)
定休日 日曜日(ランチ営業あり)・月曜日



くりやま アンド・アム 大喜多幸治

大阪府出身。移転前は札幌円山エリアでイタリアンレストラン「アンド・アム イタリアーナ」を営業。現在は栗山の食材を最大限に生かした創作イタリアンを提供している。「夏は忙しくなるため、スタッフ募集中です!」

くりやまアンド・アム

〒069-1508
栗山町字湯地22-64
TEL 0123-76-7558
営業時間 11:00～15:00
17:30～ラストオーダー
20:00
定休日 水曜日

が見られるかもしれません。

オープン。早速お客さんからのうれしい反響があるようです。「夏は町外からのお客さんが多いんですよ!口コミなんですよ!」

栗山に来てまず驚いたのが、地元を想う栗山の人の熱さだったとか。数カ月後、誰よりも熱く栗山を語る大喜多さんの姿が見られるかもしれません。

ご縁があって、札幌から栗山へ

「札幌でイタリアンやってた人が、栗山に魅せられて『栗山の店』になりたがっている。そんな風に面白がつもらえた」

そう微笑むのは、シェフの大喜多幸治さん。札幌でイタリアンの店を営業していた時、常連のお客さんに紹介されたのが現在のお店として使用しているエコビレッジの軒家でした。縁もゆかりもない場所さらに移転の「い」の字も考えていないイタリアンが、それが一転、見るだけ「の」つもりで栗山を訪れた際、その景観の美しさにすっかり魅了されたといいます。その後バタバタと移転の準備に取り掛かり、2018年5月に



ランチタイムはバサセットやビジネスランチを用意。彩り豊かな自慢のバサやピザを味わえます。



ーもしも、この町の監督をするとしたら、どこをどう伸ばしますか?

例えばですけど、日本全国から人を集めて、里山のホテルを見せてもいいんじゃないかな。あれだけホテルを見れるってないですよ。こういう特長をどんどん出して、子供たちに自然を見せるための環境を作ったらいいんじゃないかと思うんですよ。お金儲けのためじゃない。そうすることで人も集ま

るし、人に優しくなれるんじゃないかな。

ー確かに、当たり前に感じてしまっていますが、貴重な自然がたくさんありますよね。

うん、僕が感動してて伝えてないことがいっぱいある。シーズン中、負けた時なんかは、ホテル見ると頑張らなきゃいけないと思うわけですよ。雨煙別川の鮭もそう。皆さんが頑張ってるって、鮭が帰ってこれるようにしたじゃないですか。鮭のほつちやれの姿を見て」と、という状況になっても僕は野球をやらないかなって思います

ね。自然の頑張りが、僕の活力でもあるんです。やっぱり何事も自然に教わるしかない



ー監督が丸一日栗山町で過ごすとしたら、町をどう巡りますか?

そうですねー。朝、森を歩いて山のおいしい空気をもらって、動物も見られますからね。あ、栗山って本当にいいラーメン屋さんが多いんですよ。だからラーメンを食べるでしょ、そして栗山公園に行つてうきぎに

ー監督が丸一日栗山町で過ごすとしたら、町をどう巡りますか?

栗山町には可能性が眠っている!?



栗山英樹
(北海道日本ハムファイターズ監督)

東京都出身。選手時代はヤクルトスワローズに所属し、現役引退後は主に野球解説者として活躍。1998年頃から栗山町との親交が始まり、町内に子ども達のための天然芝の野球場『栗の樹ファーム』を造る。2012年に北海道日本ハムファイターズの監督に就任、現在に至る。

栗山監督の素に迫る 十問十答

普段聞けない顔、チリ!?

問一 子供の頃のニックネームは? いきいきぼん、って言われてたね。生意気の「いきき」だったんじゃないかな(笑)。

問二 苦手な食べ物は? パクチー。食べられなくはないけど、におが残るんだよね。

問三 最近爆笑したことは? うさぎ! この前、外でご飯食べてたら近くに現れたんだよ。びよびよ跳んできて、俺と目があったわけ。その時のうさぎのびっくりした顔!!あれ見たら笑ったねー。うさぎってこんな驚き方するんだっていう。

問四 逆に最近号泣したことは? 石井ちゃん(石井裕也投手)の引退だね。号泣はいつもありますね。人の優しさに触れるとダメですよ。すぐ泣いちゃう。

問五 今一番欲しいものは? んー……、選手たちを育てる力かな。

問六 この世で一番怖いものは? 野球。これほど素晴らしいものはないし、これほど怖いものはない。難しい。ちょっとでも気を許せば返ってきますから。

問七 自分の性格を一言でいうと? 実は短気かもしれないですね。直感で浮かんだのは「ぼや〜ん」だけど、そうならうとしてののかも。

問八 野球に出会ってなかったら何をしていましたか? 教員でしょうね。小学校の卒業アルバムに「プロ野球選手、プロゴルフ、体育の先生」って3つ書いてましたから。

問九 ここぞという時にしている験担ぎは? 自分のためにはしないけど、メッセージを伝えるためにネクタイの色を変えとかはあるかな。連敗したパンツは履かないとかね(笑)。

問十 最後に、20年前の自分に一言。 「お前、もう一回頑張れよ」。ちょっと自分の人生が見えづかった時期でしたね。結果的に栗山に球場を作ったなかったら監督にならなかったと思うんです。野球の神様がくれたチャンスだと思ってます。「これだけ野球が好きだったらもう一回やらせてやるよ」という。